

社協だより

令和3年8月15日 (第137号)

発行者
 社会福祉法人
 高山村社会福祉協議会
 TEL 242-1220
 FAX 242-1222
 印刷所
 (株) オフセット

世代間交流 七夕飾り作り開催



7月6日(火)、子育て支援センターを利用する親子の皆さんと、更生保護女性会及びシニアクラブ(旧老人クラブ)連合会女性部の皆さんで世代間交流「七夕飾り作り」を開催しました。

今年は13組の親子の皆さんが参加し、網飾り(天の川)や吹き流しなどの飾りを、両女性会(部)の皆さんと一緒に手作りし、願い事を書いた短冊とともに笹に飾り付けました。

子どもたちは、お母さんが見守る中、真剣な表情で折り紙を切るなどの、ほほえましい光景も見られ、笹飾りはとても上手に仕上がりました。

最後は1組ずつ笹飾りを手記念撮影。大変満足そうでした。

掲載記事

- 社協の決算…………… 2
- 小学生サバ飯作り…………… 3
- 高齢者の料理教室開催…………… 3
- 社協の役職員紹介…………… 4
- 社協からのお知らせ他…………… 4



社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。

令和 2 年度 社協収支決算の概要

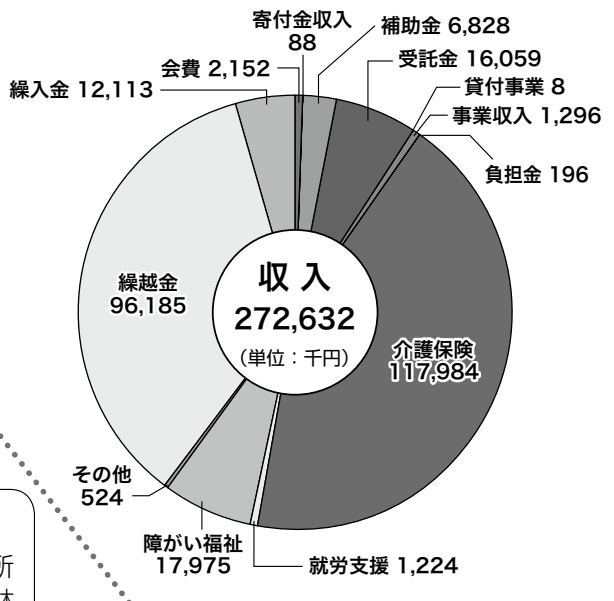
令和 3 年度第 1 回理事会及び定時評議員会を 6 月に開催し、令和 2 年度事業報告、一般会計資金収支決算が原案どおり承認されました。

令和 2 年度の収入総額は 2 億 7,263 万 2 千円で、前年度に比べて 2,213 万 2 千円の減となりました。

一方、支出総額は 1 億 8,390 万 9 千円で、前年度に比べて 1,467 万円の減となっております。

今後も「誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けるために」利用者の立場に立ち、満足の得られる地域福祉サービスに努めてまいります。

収入の状況



支出の状況

◆就労継続支援 B 型事業所

一般就労が困難な方を対象に、働く場を提供し、知識及び能力向上の訓練を実施しました。
・年間開所日 …………… 240 日
・利用延べ人数 …………… 2,112 人

◆フラワーセンター

B 型通所者及び共同作業所の就労訓練の場として花鉢等を栽培し販売するほか、村内の花いっぱい運動事業へ苗を供給しました。
8,496 鉢販売

◆高齢者福祉センター 管理運営事業

村内の高齢者の皆さんに交流や入浴等のため施設を利用して頂きました。
・高齢者センター
開所日 …………… 310 日
利用延べ人数 …… 8,682 人
(7 月～9 月熱中症対策により無料開放)
・松の湯荘
利用延べ人数 …… 1,883 人

◆総合事業

高齢者交流センター「松の湯荘」において、送迎により運動、レクリエーション、入浴・食事等のサービスを提供しました。
・開所日 …………… 256 日
・利用延べ人数 …………… 1,883 人

◆訪問介護事業

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護及び生活援助のサービスを提供しました。
・年間提供日数 …………… 365 日
・利用回数
介護保険 …………… 3,587 回
障がい自立支援 …… 470 回
軽度生活支援 …………… 63 回

◆通所介護事業

デイサービスセンターにおいて、送迎により、入浴、機能訓練、レクリエーション、食事等のサービスを提供しました。
・年間稼働日数 …………… 310 日
・利用延べ人数
介護保険 …………… 6,851 人
障がい自立支援 …… 327 人

◆法人運営事業

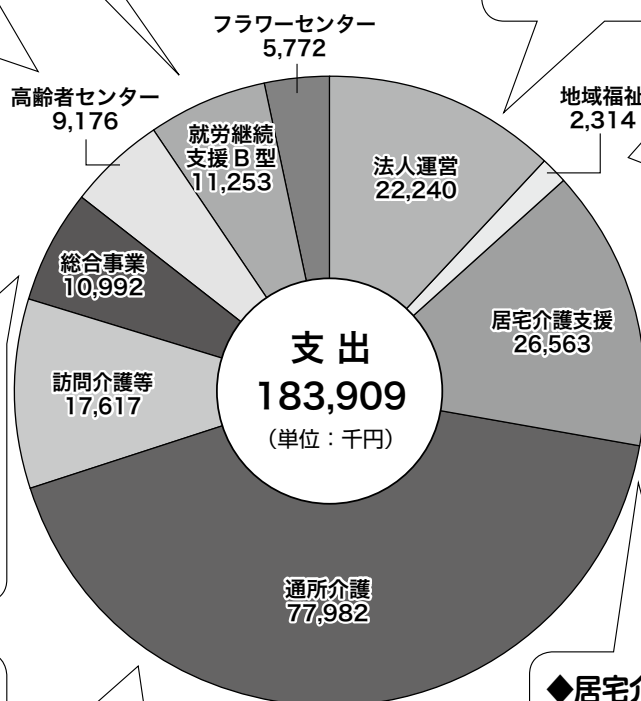
社協の適正運営及び組織体制の充実を図るとともに、職員の専門性を活かし、資質向上に努めました。

◆地域福祉推進事業

- ・ボランティア育成支援
- ・サロン事業支援
- ・在宅介護リフレッシュ
- ・心身障がい者希望の旅
- ・ひとり暮らし高齢者ふれあいの旅
- ・ひとり親家庭交流会
- ・金銭管理、財産保全サービス
- ・福祉団体育成
- ・福祉輸送サービス
- ・結婚相談
- ・くらしの資金、生活福祉資金貸付
- など

◆居宅介護支援事業・相談支援事業

ケアマネジャーが利用者や介護家族の状況、希望を総合調整し、適切な介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、在宅介護を支援しました。
・ケアプラン作成件数 …………… 1,853 件
・障がいサービス計画作成件数 …… 78 件



小学校わくわく村

サバイバルご飯作り



電の火が消えないように真剣に燃料を追加する小学生。苦勞して炊いたご飯は格別



完成、おいしく炊けたかな



さあ！かまどをつくるぞ

7月17日(出)、大規模災害に直面したときにも生きのびる術を身に付けるため、小学校わくわく村では「サバイバルご飯(サバ飯)」作りを体験しました。
調理器具が無くてもご飯が炊けるよう、ビールの空き缶2個と、燃料用に牛乳パック3個を用意。上蓋を切り取った空き缶の一方に米と水を入れ、もう片方を竈とし

て使用。竈の横に開けた穴から短冊に切った燃料をテンポよく入れると、おいしくご飯が炊き上がりました。
初めて参加した松澤裕子教頭先生は、「竈の火は、手を掛けすぎると不完全燃焼し、手を抜けば消えてしまう。そんなところは子育てと似ている」と感想を述べられました。

独り暮らし高齢者の料理教室

6月7日(月)、高齢期を健康に過ごしていたため、独り暮らし高齢者の皆さんを対象に料理教室を開催しました。

食生活改善推進協議会(食改)の皆さんとシニアクラブ連合会女

性部の皆さんにもお手伝いいただき、今回は、春先に食改が村内全戸に配布した「食改さんの減塩健康レシピ」の中から、夏メニューに挑戦していただきました。



上手に出来ておいしそう



大葉を巻いた鶏つくねの照り焼き

日赤会費の御礼

ありがとうございました



本年度、皆様からお寄せいただいた会費は、75万2千5百円となりました。大変ありがとうございました。

お預かりした会費は、静岡県熱海市で発生した土砂災害や、河川の氾濫などの大規模災害の際の救護活動を始め、血液(献血)事業・医療事業のほか、国際救援などの活動に利用されます。

日本赤十字社では引き続き、活動に賛同していただける新規会員を募集しています。詳しくは高山村社会福祉協議会へお問い合わせください。

☎242-11220

ご芳志

寄附に対し心より御礼申し上げます。

清水 益男 様
リクライニング車いす・介護用品

生活にお困りの方は ご相談ください

「職を失い生活できない」「病气や介護で仕事ができない」「シングルマザーで収入が減り、どう生活したらよいか分からない」など、生活や就労でお困りの方に、長野県生活就労支援センター「まじやぽ」が総合的な支援を行います。



高山村社協では、県と連携して「まいさぼ出張相談所」を開設し、県の相談員による相談体制を整えています。

一人で悩まずにお気軽にご相談ください。相談は無料です。

まいさぼ信州長野

場所 長野市中御所岡田98-1

☎224-3800

(休日を除く月～金 9:30～17:00)

まいさぼ出張相談所

(高山村社会福祉協議会)

場所 高山村牧130-1

保健福祉総合センター
(チャオル)内

☎242-11220

(休日を除く月～金

8:30～17:15)

デイサービスセンター ワクチン接種完了

5月上旬からスタートしたデイサービスセンターのワクチン接種は、利用者の方は6月上旬に、職員も7月中旬までに2回の接種が完了。心配された副反応は、ほぼ見られませんでした。

社協からのお知らせ

希望の旅・ふれあいの旅・ひとり親家庭 交流会を延期します

毎年、9月～11月にかけて実施する各日帰り旅行ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止とさせて頂いたため、今年も、オリンピックを目前にして、東京に緊急事態宣言が発令されるなど、まだ安心できる状況にはありません。そのため、感染が落ち着いて安全に実施できるようになるまで、延期させて頂いてまいります。毎年楽しみにされている方には大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

福祉車両を 更新しました



17年間使用した、デイサービスセンターの軽自動車1台を更新しました。

社協役員の紹介

よろしくお願ひします

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 会 長 | 内山 信行 | 監 事 | 中村 義忠 |
| 副 会 長 | 藤沢 敏和 | 評 議 員 | 浦 埜 愛子 |
| 副 会 長 | 日向 健二 | | 滝澤みき枝 |
| 常務理事 | 宮川 裕明 | | 宮川千恵子 |
| 理 事 | | | 片桐都世子 |
| | | | 黒岩 里美 |
| | | | 小林美佐子 |
| | | | 黒岩 隆三 |
| | | | 松本 利昭 |
| | | | 松本 弘子 |
| | | | 山岸 泉 |
| | | | 山 啓 米彦 |
| | | | 宮前 道子 |
| | | | 黒岩 陽子 |
| | | | 田尻 陽子 |
| | | | 小板橋千文 |
| | | | 関谷小一郎 |
| | | | 中村 雪子 |
| | | | 藤沢 一寛 |
| | | | 山田麻記子 |
| | | | 松本 和子 |
| | | | 西條 正純 |
| | | | 久保田 守 |
| | | | 小林 誠二 |
| | | | 大川 恵美 |

高齢者福祉センターの小和室の利用は予約制に変わりました

※熱中症予防のため、7月～9月までの3カ月間高齢者福祉センターを無料開放します。